



平成 20 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名	楽 天 株 式 会 社
代 表 者 名	代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 三 木 谷 浩 史 (JASDAQ コード 4755)
問 合 せ 先	取 締 役 常 務 執 行 役 員 高 山 健 電 話 03-6387-0555

### 組織改正について

当社は、平成 20 年 7 月 1 日付けの組織改正に関する添付のプレスリリースを行いましたのでお知らせいたします。

以上



2008年6月30日  
楽天株式会社

## 組織改正のお知らせ

楽天株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役会長兼社長：三木谷 浩史、以下 楽天）は、2008年7月1日付で下記のとおり、さらなる成長に向けて意思決定の一層のスピードアップと業務の効率化を図るため、組織のスリム化、フラット化を柱とした組織改正を実施しますのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 組織改正（7月1日付）

楽天は、2006年11月1日付で「Growth Management Program：グロースマネージメントプログラム（GMP）」を導入し、経営管理区分を事業単位のビジネスユニット（BU）制に改組しBUごとに収益性、成長性を管理することで、“楽天グループ全体像の把握”（見える化）を推進してきました。その結果、楽天グループの成長戦略を明確化し、インキュベーション（新規）事業の育成および戦略的な分野への重点投資を効果的に実行してきました。

今回の組織改正では、これまでの実績と成長性をもとに、事業の一層の“選択と集中”による効率化を推進します。また、組織の階層を減らしフラット化することで、ムダの排除と意思決定の迅速化を図ります。

具体的には現在の33BUを、9BUと新設の2グループに再編します。既存のBUを「事業」に改称し、各事業を戦略的な観点から領域の類似性や親和性を考慮して9つのBUとして束ねます。また、見える化による管理を継続して行い、成長過程にある事業ならびに揺らん期の新規事業を戦略的に投資・育成していくことをより明確化するため、「グロースグループ」と「インキュベーショングループ」の2グループを新設し、該当事業をそれぞれ両グループのもとに置きます。これにより、統合によるスケールメリットの享受、各事業の成長スピードアップが可能になります。

管理・開発部門については、「本部」制から「部・課」に変更しスリム化していきます。これまで本部に属していた開発部隊は、事業規模や収益性、成長性を踏まえて各BUに配置し、現地・現物による開発業務の体制を敷くことで生産性向上を図っていきます。

今回の組織の大幅なスリム化、フラット化により、効率的な組織運営を推し進め、楽天グループのさらなる成長を目指してまいります。

組織再編の概要は以下の通りです。

- 1) 既存のビジネスユニット（BU）を業種などでグループ化し、新BUとして再編する。
- 2) 既存のBUを「事業」、そのまとまりを「BU」とする。

3) 新組織体系

新BU	BU長	主な「事業」
EC BU	代表取締役会長兼社長 三木谷 浩史	楽天市場事業 ビジネスサービス事業 デリバリー事業 オート事業 国際市場統括事業 物流事業
コンテンツ BU	取締役常務執行役員 鈴木 尚	インフォシーク事業 コンテンツ事業 ブログ事業
パッケージ&エンタメ BU	鈴木 尚	パッケージメディア事業 チケット事業 メディアレンタル事業
広告 BU	取締役常務執行役員 島田 亨	広告事業 リンクシェア Rakuten USA
プロスポーツ BU	島田 亨	プロスポーツ事業
電話 BU	島田 亨	電話事業
トラベル BU	執行役員 岡武 公士	トラベル事業
証券&投資 BU	代表取締役副社長 國重 惇史	証券事業 投資事業
クレジット&ペイメント BU	國重 惇史	KC 事業 パーソナルファイナンス事業
グロースグループ	—	リサーチ事業 人材事業 ゴルフ事業
インキュベーショングループ	—	バンキング事業 競馬事業 保険事業 モーゲージ事業 オークション事業 ダイニング事業 プロパティマネジメント事業 楽天・ファスト・モバイルサーチ

以上